

# 特別養護老人ホーム 第二天神の杜

# ま す な

- 絆 -

第 44 号

2022年9月30日発行



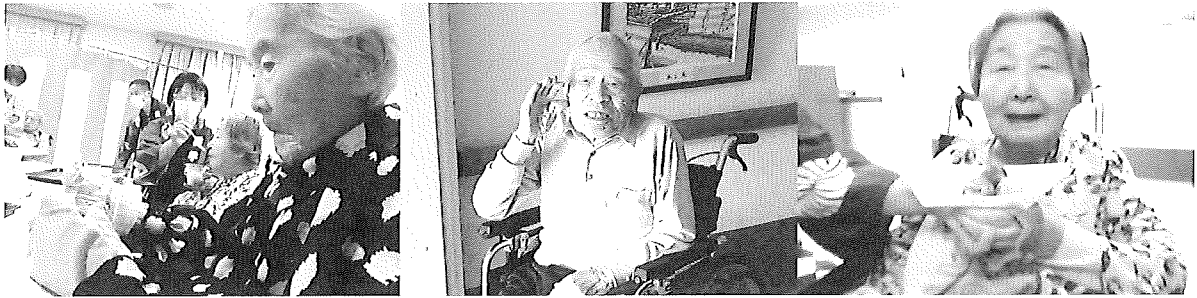
第二天神の杜 家族の会  
特別養護老人ホーム 第二天神の杜

# 8月8日 第二天神の杜 納涼祭

コロナ禍ではありますが、『夏』を少しでも感じて楽しんでいただきたいという職員の声が多くあり、一昨年・昨年に引き続き、今年も「たこ焼き・かき氷・ヨーヨー・飲み物など」を用意し、職員は浴衣や甚平姿で夏の風物詩を演出しました。

感染予防に注意しながらユニット単位で納涼祭の会場に出向くなど、制約はありましたが、いつもと違う雰囲気にも、入居者の皆様の嬉しそうな笑顔がとても印象的でした。





# ユ ニ ッ

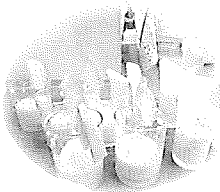
## わかくさ

7月9日 手作りパンケーキ  
盛り付けを手伝っていただきパンケーキを作りました。



## さわらび

7月31日 採りたてメロンをみんなで堪能しよう  
屋上の菜園で収穫したメロンをスムージーにして舌鼓を打ちました。見た目の美しさもあり喜ばれていました。

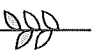


## なでしこ

8月 夏のひととき  
いただいたスイカとメロンを美味しくいただきました。



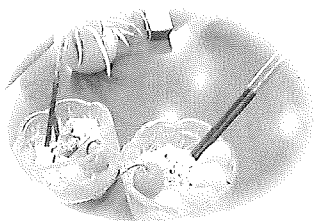
8月23日 山田様 92歳お誕生日  
ギョーザやケーキを作り、皆でお祝いしました。



# ト 報 告

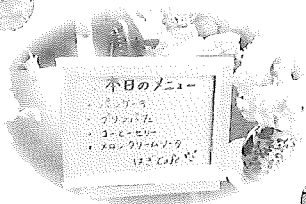
## ききょう

8月17日 それぞれの夏  
お菓子や果物を盛りつけたフルーツパフェやゼリーにメロン。  
冷たい美味しい物で夏を感じました。



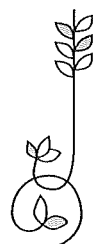
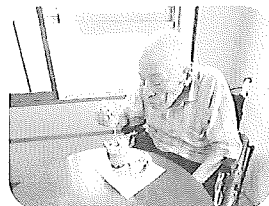
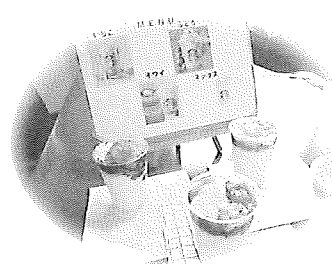
## はぎ

7月12日 はぎカフェ  
パンケーキやプリンパフェ、コーヒー  
ゼリーや昭和を感じるメロンソーダな  
ど喫茶のメニューがラインアップ。  
夏を感じ懐かしの味を楽しみました。



## こぐり

7月16日 スターバックス風カフェ  
手の込んだ4種類のパフェをご用意して、  
ドリンクと一緒に楽しんでもらいました。



## ふれあい広場

このコーナーでは、家族様や入居者様のお話を中心に取り上げています。家族様から寄せていただいたお話をご紹介します。

## 母 藤原文子

母は奈良県の吉野で4人兄弟の長女として生まれました。桜で有名な吉野山はすぐ近くで、実家は、吉野杉の木材商を営んでおりました。戦時中は和歌山で疎開生活を送り、吉野に戻って成人後の数年間は幼稚園の先生をしていました。その後は奈良のゴルフ場で受付として働き、父親とはゴルフを通じて知り合ったそうです。

奈良市に住んでいた父と結婚してからは、専業主婦でした。父はいわゆる「昭和の亭主関白」でしたが、母は柳のように受け流していたようで、よく旅行やゴルフに一緒に出かけていました。料理は得意で、学生時代サッカー部だった私の食欲を満たしてくれました。私が家庭を持つてからは、正月とGWくらいしか実家に帰りませんでしたが、私の家族みんな母の料理、特におせち料理を楽しみにしていました。食材探しのショッピングが好きで、奈良のそごうや京都の錦市場がお気に入りでした。

6年前に父が他界してからは自宅での一人暮らしで、吉野の親戚との付き合いもあまりなく、ゆっくりですが着実に高齢化が進みました。私たちは京都に住んでいましたので、近所のマンションにでも引っ越してくれば安心だったのですが、母なりの遠慮なのか「あなた達の世話にはならない」と奈良から離れませんでした。話が進展しないまま今年の12月に脳出血で入院し、自宅に戻ることは不可能となりました。

奈良を離れても満足してもらえる施設選びは、難航しましたが、第二天神の杜を見学して、理念がしっかりしており生き生き働くスタッフの方々を知ってからは、ここ以外は考えられなくなりました。縁あってお世話になることが出来て、本当に感謝しております。まだ入居間もないですが、入院していた頃とは見違えるほど嬉しそうな表情なので安心しております。

長引くコロナ禍でスタッフの皆様のご苦勞は大変なものとお察ししますが、これからも何とぞ宜しくお願いいたします。

## 藤原 亨



## 9月19日（祝日）第二天神の杜 敬老会

新型コロナウイルス感染症の見通せない中、入居者様への感染防止を最優先に考慮して昨年と同様に式典への参加者を、表彰や記念品の贈呈を受けられる入居者様とご家族、関係する最小限の職員に限定して実施することになりました。

今年は、100歳と米寿が1名ずつとなりましたが、お二人ともきれいに着飾られ、胸には職員手作りのコサージュを付けられ、ご家族に見守られるなか、表彰やお祝いの品を受けられました。なかには、これまでの歩んで来られた人生を振り返えられたのでしょうか、感極まった場面もあり、とても素敵な敬老会となりました。

【100歳】 石田 照子 様（ユニットさわらび）

【米 寿】 出口 壽美子様（ユニットこぐり）

また、当日は入居者の皆様に「お祝い膳」を召しあがっていただき、第二天神の杜家族の会よりお祝いにいただいた紅白饅頭にも、舌鼓を打たれるなど、充実した敬老の日を過ごされていました。



ユニット こぐりの田中 武夫様が106歳で、長岡京市の男性の中で最高齢者であることから、9月29日（木）には、中小路 健吾市長が第二天神の杜を来訪され、賞状やお祝いの品を贈呈されました。

## 第二天神の杜の配置医師の交代について

## ご挨拶

はじめまして、西山天王山やまだ内科クリニック 山田 真也です。2022年9月から第二天神の杜の嘱託医を拝命いたしました。私は今年が医師となって20年の節目の年で、8月より開業医としてあらたなスタートをきりました。今まで、食道・胃・大腸および肝臓・膵臓・胆嚢など、おなかの病気を専門的に診断治療する消化器内科医として医師人生を歩んでまいりました。前職は京都第一赤十字病院で10年ほど勤務をしており、消化器内視鏡分野（いわゆる胃カメラ・大腸カメラです。）で種々の専門的検査や治療に携わってまいりました。キャリアの前半は、北は舞鶴医療センターから南は城陽市の京都きづ川病院まで、京都府下のお年寄りの多いのどかな環境のなか、消化器領域を中心とした内科全般の幅広い分野をカバーする医師として勤務しておりました。この度、ご縁あって第二天神の杜様に嘱託医としてお世話になることとなったわけですが、最初におうかがいしてすぐに、出入り口の眼前に広がる緑豊かな日本の原風景ともいべき景色に心を奪われました。そして、そこでのんびりとお過ごしになれる入居者様の優しい笑顔にこちらが力をいただいております。今後は入居者様の快適な生活を医療面からそっとサポートしながら、お体の異常を早期に発見し、適切な医療を提供できるよう、微力ながら尽力いたします。長期間続くコロナ禍のなか、ご面会もおぼつかず、大事な入居者様のお顔をご覧いただけないご家族様の心中を察するに余りあります。ご不安や疑問点などございましたら、ご遠慮なさらずいつでもお尋ねください。今後ともなにとぞよろしくお願いいたします。



山田 真也

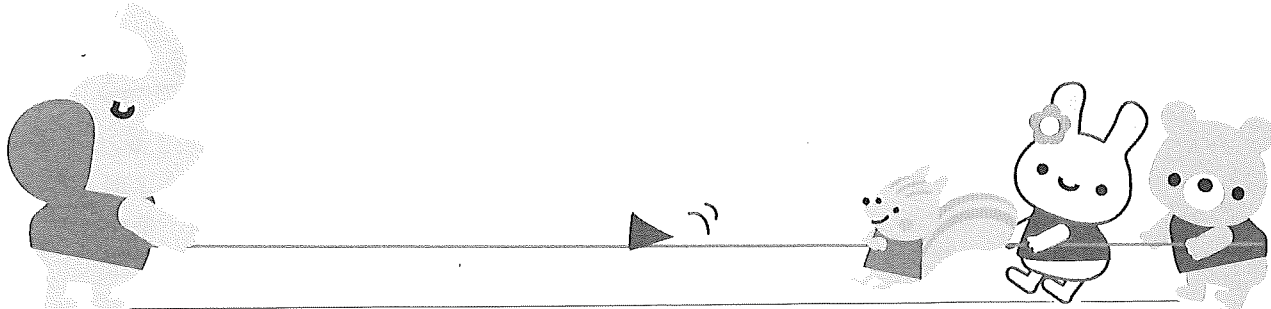
森本医院の森本 英夫先生は、2003年5月の天神の杜開設から配置医師として、また2010年6月の第二天神の杜開設から配置医師として務めていただき、入居者様ならびに職員の健康管理をしていただけてきました。

最近のご自身の体調のこと等を含め退任の申し出をされ、8月末をもってご退任されることとなりました。

9月からは、西山天王山やまだ内科クリニックの山田 真也先生に交代となります。

山田先生は、8月に長岡京市花山で医院を開業され、天神の杜の配置医師の菅田先生からのご推薦と併せましてご尽力をいただきまして、今回の運びとなりました。

また、交代による不測の事態が生じないように、森本先生から山田先生の引継ぎに鋭意取り組んでいただいています。尚、9月から第二天神の杜の定期回診日は火曜日から月曜日に変更になりますことを申し添えておきます。



社会福祉法人 長岡京せいしん会 住所 〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺竹ノ下19番地  
特別養護老人ホーム第二天神の杜 Tel (075) 959-1220 (代表) Fax (075) 957-2112

ホームページアドレス <http://www.tenjin-no-mori.or.jp>

[掲載する内容、写真に関しては、あらかじめ家族様より許諾を得て掲載させていただいております。]